



アルゼンチン政府が16日、アルゼンチンの石油企業で、現在はスペインのレスボル社の傘下にあるYPF社を実質的に国有化する旨を発表し、クリスチーナ大統領は16日正午過ぎに演説を行い、YPF社の株の5%を国が保有するとい

う提案を議会に出したと発表した。残りの株は、大統領とも密な関係にある同社のCEOであるセバスチャン・エスケナジ氏の一族や少数株主が所有するところである。また、YPF社は17日付付字紙が報じている。

この発表と同時に、アルゼンチ

ンの聴衆は歓喜し、演説

中で与党の正義黨の歌が鳴り響く中、クリスチーナ大統領は「これは石油

に関する統治の復権だ」と語った。YPF社は1992年に設立された石油会社で、1993年に

当時のメヌム政権によ

り、この国が保有した5%

が、99年の所有内訳は26・0

1%が保有した5

1%を国が保有するとい

う意味で、アルゼンチ

ンの石油業界で約60%

が、一般的家庭の負担も低

いが、一般的家庭の負

金利のものに取り替える

ことである。アルゼンチ

ンの石油業界で約60%

が、一般的家庭の負

金利のものに取り替える



法務省の経済防衛管理審議会(Cade)は1

1日、実業家のベンジャミン・スタインブルックが経営するナシオナル製鉄会社(CSN)がウジミナスの取締役と会計監査役の指名に関する、CSNとウジミナスが競争関係にあること。Cadeは、CSNがウジミナスの重要な関連情報にアクセスすることを懸念している。Cadeによると、CSNは普通株で11.97%、優先株で20.14%、优先株式であるか優先株であるかを問わず、これら以上のウジミナス株式が保有する、投資計画による影響にアクセスすることも禁じられる。CSNは、新日鉄を中心とした日本グループの次大株主。ただし、ウジミナスは、ウジミナスの次回定例によると、Cadeによると、

内担当CEO、ルイス・リー・デイーは上半期

自動車メーカーのチエリーアは、サンパウロ州ジャカレイ市に4億ドルを投資して最初の工場を建設しており、全国自動車部品工業組合と協議を開始。同社への供給のため

見本市開催の準備を進めている。

チエリーアは、国内サプライヤーと

見

## ニッケイ俳壇

(415)

上妻 博彦 選

祖父祖母と共に過ごし歳月の長短そのまま子等の日本語 夕ぐれて唇の暑さも薄れ行きそよ吹く風に秋を感じぬ妻が今朝の市にて購いし林檎のフジは秋の使者なり妻が庭辺に掃き寄せ落葉の匂い心和みぬ  
秋深し妻が庭辺に掃き寄せ落葉の匂い心和みぬ  
「評」どの作品もベテランの輝きがある。特に1首、5首自ずと湧きいでた心の歌と思ふ。

ふるさとの梅の便りや梅林にピクニックせし遠き日  
懶ぶ

サンパウロ 遠藤 勇

秋一過夜空は澄みて満天の星のまたき語るが如し  
老妻が今朝の市にて購いし林檎のフジは秋の使者なり  
妻が庭辺に掃き寄せ落葉の匂い心和みぬ  
「評」どの作品もベテランの輝きがある。特に1首、5首自ずと湧きいでた心の歌と思ふ。

秋深し妻が庭辺に掃き寄せ落葉の匂い心和みぬ  
「評」どの作品もベテランの輝きがある。特に1首、5首自ずと湧きいでた心の歌と思ふ。

○作者は一世の人ですが以前ノロエステ地方

の人が俳句をやつて居られた森田郎と云う人が

ありました。父の遺物帳のお父さんはその森さ

んではとおたずねします。森姓の人は多くあ

りません。

○風の夜は深く沈みて星月夜

寄り添えて鶴頭二本枯れて行く

灯ともりし力ーテンにすがりいぼむしり

思案して居てぼうふらの浮いて来ず

○星月夜は美しい夜景だが、その下を吹く風に

さえぎられて大空深くに沈んだ様に見られる。

これも作者ならではの写生句である。虚子に

「清水に雨後の灯多し雨の浮いて来ず

見えた景色なのである。虚子には深味があつてよい。作者は「回休」されたらしく。ようこばしい。

健康を取り戻されたらしい。

セラード・クリスティス

桶口玄海児

（694）

## ニッケイ俳壇

(694)

アリアンサ

新津 稲鷗

東 抱水

空晴れて居れど海峡露残る

朝霧の漸くうすれ竿を差す

こつそりと持ち来る麻州の原種蘭

敬意を表す。

アチバイア

星野 瞳 選

空晴れて居れど海峡露残る





（7） 午後3時半頃、交流を終え恒例の「ふるさと」を合唱し、握手で別れを惜しながら行。長田さんは妻の梅千や梅酒に目を離さず、戦前は領事館が設置されていた日本移民との話をしたり、個別に話をしたりしながらバスに乗り込み、会員らに見送られるながら次の目的的

地へ。ハウルー市へと出発。（ハウルー文協五十年み）

（5）

## ボツカツ・パウル、 パ・パウリスタを往く

（5）

サンパウロ総合大学で「科学史の教鞭をとる本山一省」教授が2年がかりで書き上げた。「移民の祖」開拓が始まった頃だ。

民者によるノロエステ開拓が始まつた頃だ。

約2時間後にホテルに到着しチエックインした。

「パウル一日伯文化協会」会館へ。島居を模

した立派な入り口の前で、待っていた会員らの出迎えを受けた。

モダンなサロンにパウル一側から150人が揃

り、午後7時頃から先

に、ハウルーの地を最初に踏んだのは郊外のサンタカラジア耕地に入耕した高知県人で、1914年5月のこと。翌年は滋賀県人が駅前で旅館を開業したとい

う。その後、導師の伊藤功さん（60、

愛知）の説経でひとり

## ノロエステの開拓起点へ

養蚕移民としてパウルーに入った文協老人クラブ副会長の益山義則さんは（74、鹿児島）は歓迎の意を示し、同県人のみ込んだ。日系社会の中

に、日本は航海中の写真ス

ライドを見ながら会食

た同船者による初の同

SHI-ISAQ（Rua da Gloria, III, Li-

1962年5月に着任し

た同船者による初の同

SHI-ISAQ（Rua da Gloria, III, Li-

1962年5月に

